

令和5年度
山形県自主防災組織リーダー研修会
実施報告書

一般財団法人 日本防火・防災協会
山形県

目次

1	令和5年度山形県自主防災組織リーダー研修会 実施概要	・・・	1
2	参加者名簿	・・・	3
3	アンケート設問及び結果	・・・	6
4	実施状況写真	・・・	8
■ 参考資料（研修資料）			
①	講義 「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」	・・・	11
②	演習 「災害図上訓練DIG」	・・・	25
③	演習 「防災まち歩きとマップづくり」	・・・	37

令和5年度山形県自主防災組織リーダー研修会実施概要

1 開催方法・目的

自主防災組織の指導的立場にある県民（未組織地域の代表者を含む）を対象に、地域における日ごろからの防災・減災対策を実践していくための手法、災害が発生した場合の対応を考える方法についての講演・訓練を受講することにより、地域における防災・減災を推進することを目的とした研修会を県内2会場で実施する。

2 主催等

主催：山形県、一般財団法人 日本防火・防災協会 後援：総務省消防庁

3 開催日時及び開催場所

- (1) 村山会場 日時：10月18日（水） 場所：霞城公民館講堂
(2) 庄内会場 日時：10月19日（木） 場所：酒田勤労者福祉センター
多目的ホール

4 研修内容・タイムスケジュール

- ・ 10:00～10:05 開会
- ・ 10:05～15:55 研修
 - ①講義 「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」
 - ②演習 「災害図上訓練DIG」
 - ③演習 「防災まち歩きとマップづくり」
- 講師：山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏
- ・ 15:55～16:00 アンケート記入・閉会

5 受講者

- (1) 村山会場 59名
(2) 庄内会場 27名
計 86名

(3) 参加対象者

以下の項目に該当し、市町村が推薦する方

- ・ 自主防災組織の指導的立場にある方、その補佐的な立場にある方
- ・ 今後、自主防災組織を結成しようとする方
- ・ 自治体、社会福祉協議会などで防災、災害支援を担当している方
- ・ 当該研修会に参加したことがない方

(ただし、令和2年度参加者及び令和3年度参加者は対象者に含みません。)

講師紹介

山口大学大学院創成科学研究科 准教授
消防庁消防大学校 客員教授

瀧本 浩一 (たきもと こういち) 氏

- ・ 福岡県出身。山口大学大学院工学研究科修了。博士（工学）。専門は防災とまちづくり、防災教育。
- ・ 消防庁「消防団員の確保方策等に関する検討会」委員、広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議委員など多数の防災関連委員を務める。
- ・ 青森県防災アドバイザー、佐賀県総合防災アドバイザー、広島県防災・減災アドバイザー、瀬戸内市市政戦略アドバイザー。
- ・ 大学での教育・研究に加えて、国・地方公共団体・企業等において年間100件超の防災講演・研修等の講師を務め、地域防災リーダーの育成や地域防災力向上のため、精力的に活動。
- ・ 主な著書は「第5版 地域防災とまちづくりーみんなをその気にさせる災害図上訓練」など。



参考 URL : <https://takimoto.localinfo.jp/>

令和5年度山形県自主防災組織リーダー研修会 アンケート設問及び結果

■ 参加者数等

- 参加者数 86名
- アンケート回収数 82枚（回収率95.3%）

■ 設問と回答結果

1 研修会全体をとおして、今後の自主防災組織の活動に役に立ちましたか。

No.	選択肢	回答数	割合
(1)	大変役に立った	65	79.3%
(2)	やや役に立った	17	20.7%
(3)	ふつう（どちらとも言えない）	0	0.0%
(4)	あまり役に立たなかった	0	0.0%

2 研修内容について理解できましたか。

No.	選択肢	回答数	割合
(1)	十分理解できた	51	62.2%
(2)	やや理解できた	31	37.8%
(3)	どちらとも言えない	0	0.0%
(4)	あまり理解できなかった	0	0.0%

3 講師についての評価をお聞かせください。

No.	選択肢	回答数	割合
(1)	大変良い	63	76.8%
(2)	良い	19	23.2%
(3)	どちらとも言えない	0	0.0%
(4)	あまり良くない	0	0.0%

4 どの講義内容が良かったですか。（複数回答可）

No.	選択肢	回答数
(1)	講義	55
(2)	災害図上防災訓練	36
(3)	防災まちあるきとマップづくり	36

5 今回の研修についてのご意見を自由に記入してください。

- 自主防災訓練→習得・検証が大事と感じた
- 災害前と後の行動の考え方の違い、地震、水害等で自主防災組織の活動の位置づけの違いに気づかされた
- 今後地域で活用していきたい
- 自主防災組織の担う分野の整理が必要と思っている。行政の二番煎じではいけないと思っていたので、本日のテーマは思いにかなった内容に近かった。
- 今までと違った研修でよかった
- 防災と減災の区別、災害が来る前の対策など、非常に勉強になりました。地域カルテを作成したいと思います。
- 大変参考になりました。どんなことができるかを考えて、できることからやってみたいと思います。
- 防災と減災の違い、自助共助公助の違い、目から鱗でした。地域でやれることに取り組みたい。
- 防災マップ作成の切り口が学べて今後のマップ作りの後押しになった。
- 防災意識について考え方を改めることができた。

■ 実施状況写真

□ 村山会場(霞城公民館講堂) 令和5年10月18日(水) 10:00~16:00

● ①講義「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」



● ②演習「災害図上訓練DIG」



● ③演習「防災まち歩きとマップづくり」



■ 実施状況写真

□ 庄内会場(酒田勤労者福祉センター) 令和5年10月19日(木) 10:00~16:00

● ①講義「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」



● ②演習「災害図上訓練DIG」



● ③演習「防災まち歩きとマップづくり」



参考資料

《研修資料》

①講義	「地域防災・減災の考え方と自主防災組織の役割」	・・・	11
②演習	「災害図上訓練D I G」	・・・	25
③演習	「防災まち歩きとマップづくり」	・・・	37

地域防災・減災の考え方と 自主防災組織の役割

山口大学大学院 創成科学研究科 瀧本 浩一
総務省消防庁 消防大学校

自助・共助・公助と自主防災組織の活動の位置づけ

災害時には、「自助」「共助」と言うけれど・・・

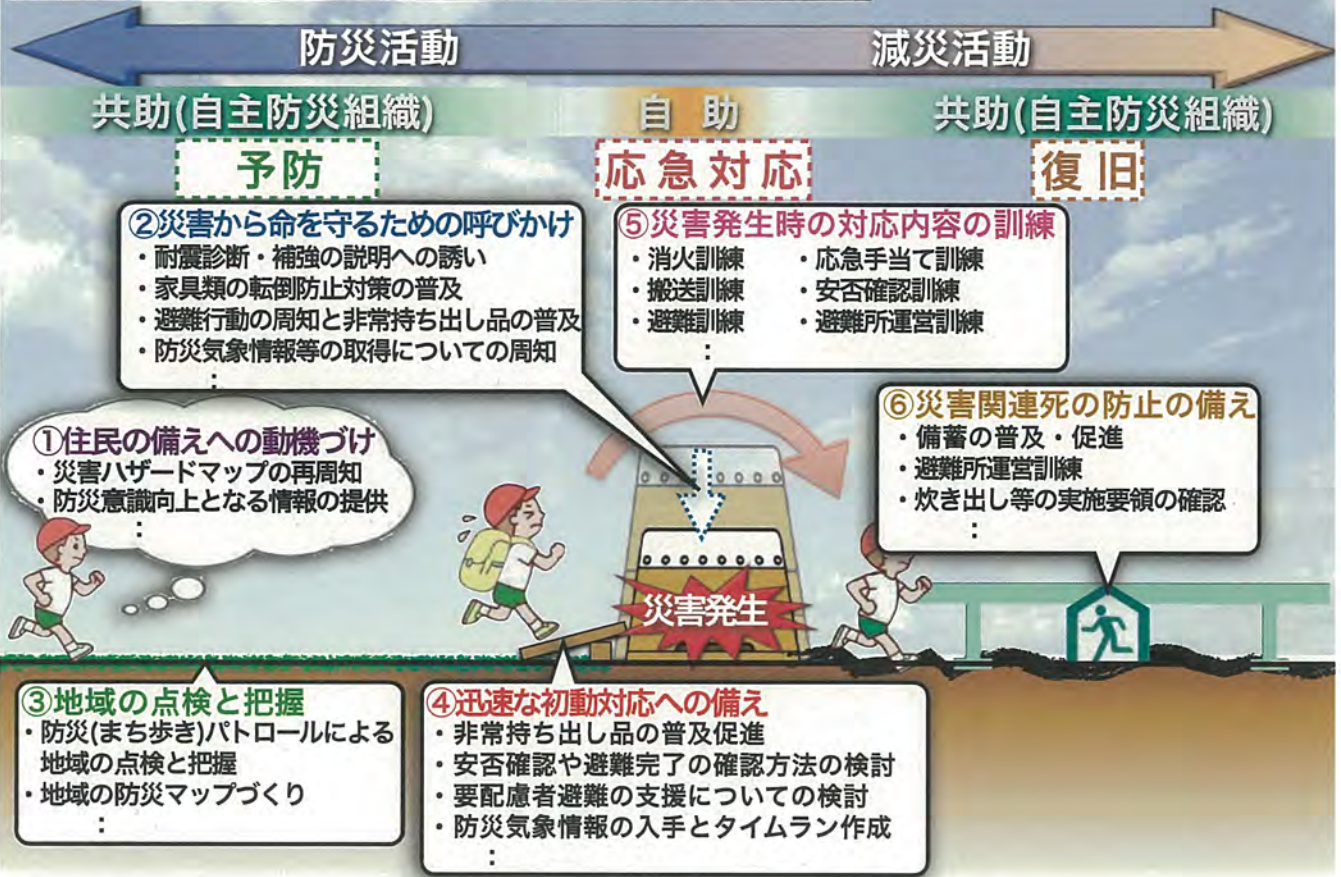


しかし、住民の多くは普段から災害時の「自助」のための
対策はしていない



大規模災害時には「自助」ができないため「共助」もできない

災害に対する地域の活動・訓練の一例



①住民の備えへの動機づけ

地震による揺れや津波浸水、河川浸水、土砂災害の危険性について、各家庭に周知する方法を考える。

トイレに貼る等のアドバイス



ゴミ分別等説明の横に貼る



地域で活用



お店、病院等での掲示



自主防災組織の役割

- 例) 自主防災組織が例えば以下を実施
- ・訓練、研修時や地域の集会における説明と周知
 - ・民生委員等の福祉と連携しての高齢者宅の戸別訪問による説明
 - ・地元商店、病院等でのマップ掲示、パンフレットの設置依頼
- ：どうすれば普及、周知できるか工夫しましょう。

①住民の備えへの動機づけ から ②災害から命を守るための呼びかけへ



マップを配布→○広報活動
×啓発活動

ハザードマップ
または想定

今からできること
今ならできること

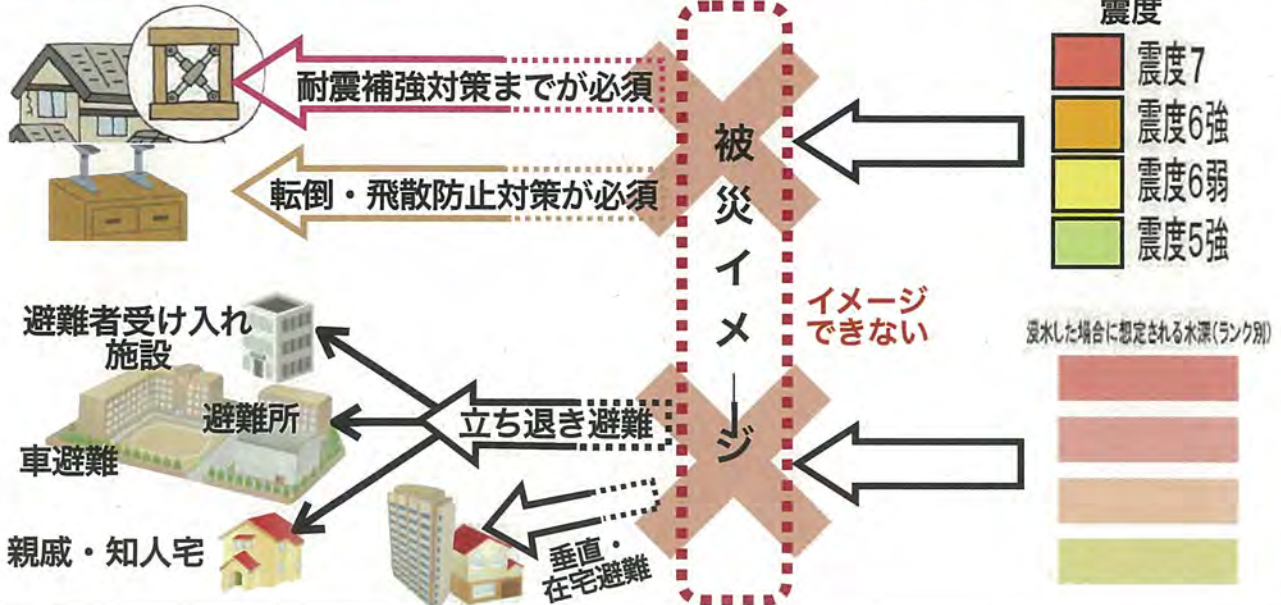
自主防災組織、消防団の
啓発による導きが必要

将来の想定される災害

具体的な対策、備え

だから・・・

災害の範囲・程度



②災害から命を守るための呼びかけ

耐震補強と家具類の転倒防止

例)

35万円～

寝室等の部屋を
耐震シェルター化

例)

30万円～

耐震ベッド

・1995年阪神・淡路大震災では地震直後7割の方が家屋の倒壊で犠牲
・2018年4月に大阪で発生した地震では家具の下敷きで高齢者が犠牲



L字金具
↓
数百円程度



ガラス飛散防止
フィルム
↓
数百円～2千円程度



観音開き防止
耐震ラッチ
↓
千円～2千円程度



参考) 自動車保険(車に乗る人の安全と補償を確保)
年平均40,000円 × 50年 = 2,000,000円

新車の軽自動車120～150万円

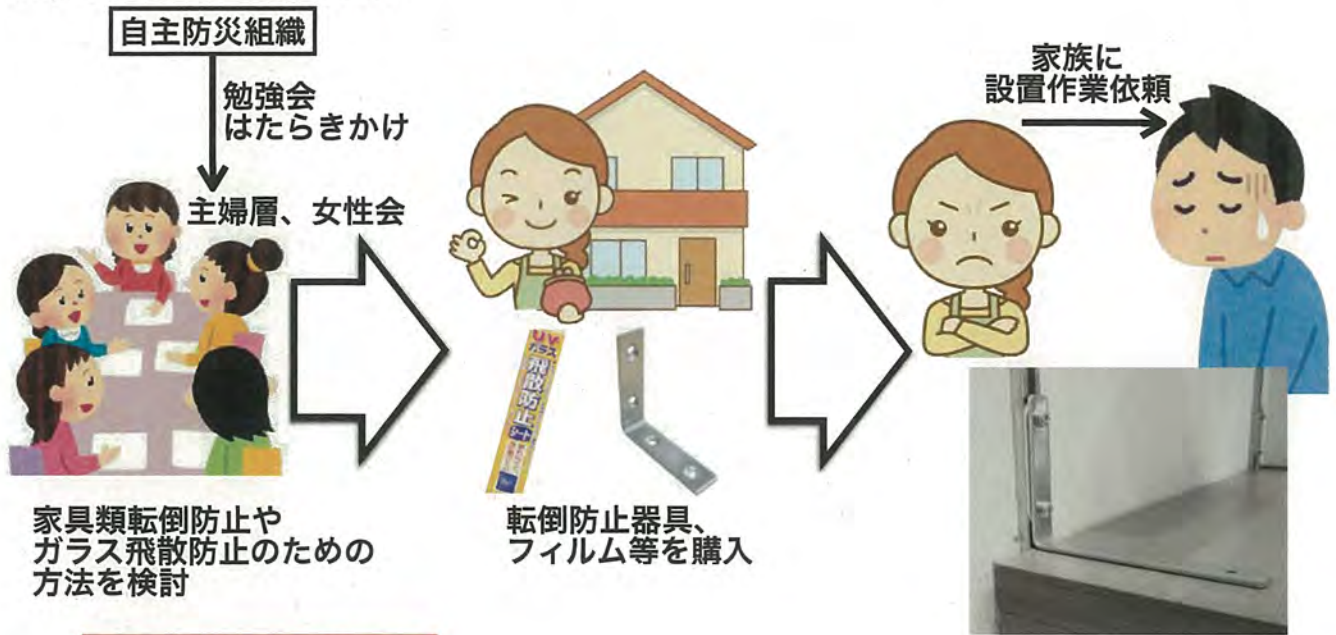
防災リーダーと自主防災組織の役割

耐震診断や補強対策の重要性について住民に啓発する。また、住民が説明を聞く機会を設ける。

出典：木造住宅における耐震改修費用の実態調査業務(財)日本建築防災協会

②災害から命を守るための呼びかけ

主婦への働きかけ目線による家庭内の安全確認と被害抑止対策の実施例)家具類の固定対策



自主防災組織の役割

地域防災活動への女性参画を進め、女性目線で防災力の強化を図る。

②災害から命を守るための呼びかけ

地域環境・活動をベースにした耐震グッズの普及・促進の一例



自主防災組織の役割

地域活動の中で防災対策グッズを普及する方法を検討して実行する。

②災害から命を守るための呼びかけ

例) 立ち退き避難時の備え



購入時に考える観点

- ・迅速に持ち出せるもの
- ・避難時に困らないためのもの
- ・避難先で困らないためのもの

避難所まで持っていける
重さと大きさで調整する



携帯毛布 飲料水 ライト付き雨傘 多機能ラジオ おむつ圧縮袋 薬・薬手帳

家庭や地域で考える

自主防災組織の役割

コロナ感染がおさまっても、避難所での感染対策は引き続き必要です。

接触感染防止

除菌シート 栄養補助食品等(個別包装)

体調管理

体温

②災害から命を守るための呼びかけ

例) 垂直(在宅)避難時の備え

普段使う缶詰、レトルト等の食品 + 飲料水 + 鍋とカセットコンロ = 普段の食事

保管場所を工夫

災害用トイレ おむつ 生理用品 ラジオ モバイルバッテリー(ソーラーパネル付き) 置き薬箱 食器の確保

垂直避難時に2階に準備

自主防災組織の役割

住民への周知と特に要配慮者へは民生委員等と協力して対策を支援する。

1階入口、床下換気口には土のうを設置

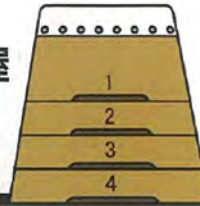
プランターとブルーシートを使った土のう→



③地域の点検と把握

地域の特徴を確認する

- ・災害の対象と範囲を把握
- ・足元を確認
- ・今からの備えを検討



災害図上訓練DIG等



地図を使って
地域の状況を把握する

防災まち歩き



実際に現場で確認する

地域の防災マップづくり



現場の状況を記録する

防災パトロール

自主防災組織の役割

自治会の役員や消防団で共有し、作成したマップ等を通じて住民に周知する。

掲示板への掲示や複製したものを全戸配布して住民に周知する。

④迅速な初動対応への備え

例) 例えば、要配慮者に対して、自主防災組織や民生委員および消防団等が対応・避難を検討し、共有する。



自主防災組織の役割

自主防災組織、民生委員と消防団等が要配慮者への対応、避難を検討し、共有する。→個別計画づくりへとつなげましょう。

④迅速な初動対応への備え

例) 安否確認、避難完了等の確認

- ・ 災害時の安否確認を効率よく行うための「幸せの黄色旗」
- ・ 避難したことを知らせる印(合図)

⇒災害発生時に無事な場合、避難する際に玄関に掲げる



無事を知らせる旗やマグネットシール

「避難した」を知らせる合図

基本は・・・**Search & Rescue**

探す

助ける

↓
?

↓
住民はこの訓練のみ実施

防災リーダーと自主防災組織の役割

安否確認や避難完了者の確認を迅速に行うための知恵を出し合ひましょう。

④迅速な初動対応への備え

避難行動のもととなる防災気象情報等の理解と入手手段の決定



警戒レベル1 早期注意情報	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
------------------	-----------------------	------------------	----------------	------------------



テレビ・ラジオによる気象情報



インターネット(スマホ等)

大雨になりそうか?
浸水・土砂災害が危険かどうか?



防災行政無線



緊急速報メール(エリアメール)

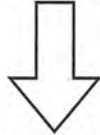
自主防災組織の活動

防災気象情報等の入手方法の周知や登録の機会を設けるなど、住民が避難に必要な情報を入手できるようにしておく。

④迅速な初動対応への備え

例) 自主防災組織(地域)の対応のタイムラインとそれを参考にした住民自身が避難に活用するマイタイムラインの作成を促進する。

①最初に地域としての対応を作成



②地域の対応を踏まえ、各家庭で作成してもらう

山形県版マイタイムライン
(山形県ホームページからダウンロード可)

⑤災害発生時の対応内容の訓練

災害時必要な対応活動は実際に訓練で試してみましよう

「けが人は担架で搬送しよう」言うは易く行うは難し
机上で対応を考えたら現場で試す⇒訓練

訓練とは → 現場での習得と検証

家庭で、職場で、地域で検証すべきことは多々ある

- 声かけ訓練、情報伝達訓練
- 搬送訓練、車いす介助訓練
- シニアポーズによる避難訓練 (高齢者検証)
- 避難所運営訓練、炊き出し訓練

自主防災組織の役割

自治会活動との相乗りなど住民の負担が軽減する工夫もして、地域で必要な訓練を実行してみましよう。

⑥災害関連死の防止の備え

例) 主婦目線による家庭内備蓄の推進の強化



自主防災組織の役割

地域防災活動への女性参画を進め、女性目線で防災力の強化を図る。

⑥災害関連死の防止の備え

避難所運営で考える3つの観点

居 食 仕 で考える。

課題の一例

◎居→レイアウトの問題

- ・避難者居住スペースのゾーニング
- ・受付、配食、配給等の位置と動線
- ・男女別のトイレや更衣室、女性専用の就寝場所、洗濯干し場等の女性に配慮したスペースの確保
- ・授乳室や幼児のためのプレイルーム
- ・女性のためのオアシスルームの確保



テントを利用した女性専用物干し場

⑥災害関連死の防止の備え

課題の一例

◎食→食事の問題

- ・避難所で支給される食事は、高齢者には適さない場合がある。
- ・災害時に義歯を紛失し、食事摂取に不自由をきたす。
- ・災害によるストレスによって食欲がない。

高齢者が食べにくい配給食の例

- ・弁当が冷たく、食べると下痢をする
- ・一般の成人と同量では多すぎる
- ・パンを好まない
- ・肉類が多い、脂っこい食事



◎什→設備、備品の問題

- ・トイレ(排泄)の問題
トイレまで遠い、段差がある、トイレが暗い
- ・女性や乳幼児のいる世帯に配慮した備品



自主防災活動の持続を考える

活動をやり
過ぎると危険



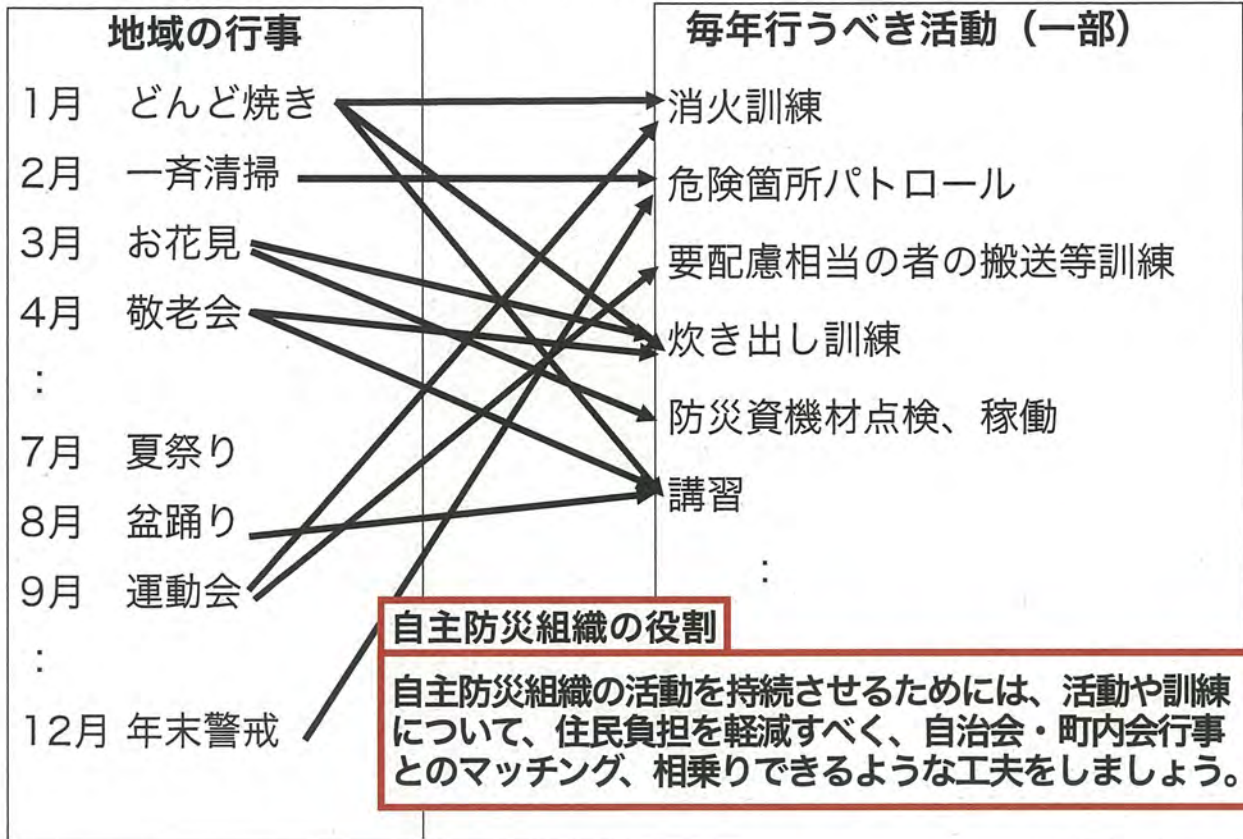
会長交代、資金難、マンネリ化、
高齢化・若者不在 人材不足・・・



一度活動が停止すると、
そこから活動を再開するのは困難

自主防災活動の持続を考える

持続のために地元行事と防災活動とのマッチング作業を行う。



自主防災活動の持続を考える

地域活動とのマッチング例

瑞浪市で実施されている防災活動持続のための工夫例



どんど焼き→消火訓練、炊き出しの例



地域の運動会での実施の例

自主防災活動の持続を考える

自主防災活動と防犯活動を一体化、組織も一体化

例) 地域で取り組む防犯防災活動

福岡市

中央区笹丘校区

笹丘校区危機管理部

いつ起こるか分からないからこそ
常に意識しなければ

校区内の防災組織について話し合う中で、私たち子ども達を非行や犯罪被害から守る“防犯”と、いつ起こるか分からない“防災”を合わせて常に意識することが必要と考えました。そこで防犯・防災に限らずあらゆる危機管理を目的とした活動組織として、2005年4月下旬に設立しました。

先人からのメッセージ

文政十一年(1828年)三条地震



出典：画帖「懲震秘鑑、火中救助の図」(新津市立図書館蔵)

絵と説明：其明(新発田藩領町の村役人)

災害については先人の教を皆忘れてしまうからいけない。

昔の教訓を心にとめて普段から用心しておけば、今回のようにあわてさまようようなことはなかった。そうすれば、もっと多くの命を救うことができたのだ。そして、「せめてこたびはかくありけりと絵にしるしおきて」子孫への戒めとしたい。

災害図上訓練

DIG



Disaster 災い

Imagination 考える

Game いろいろやってみる

災害図上訓練DIGで準備する主な道具



OPPフィルム
(切断して使用)



油性マーカー
(太⇔細)



●シール



付箋紙



マーカー消し



養生
テープ



対象地域の現在の地図
(入手については市町村に相談)

◎地震をテーマとした場合



揺れやすさマップ
震度想定資料

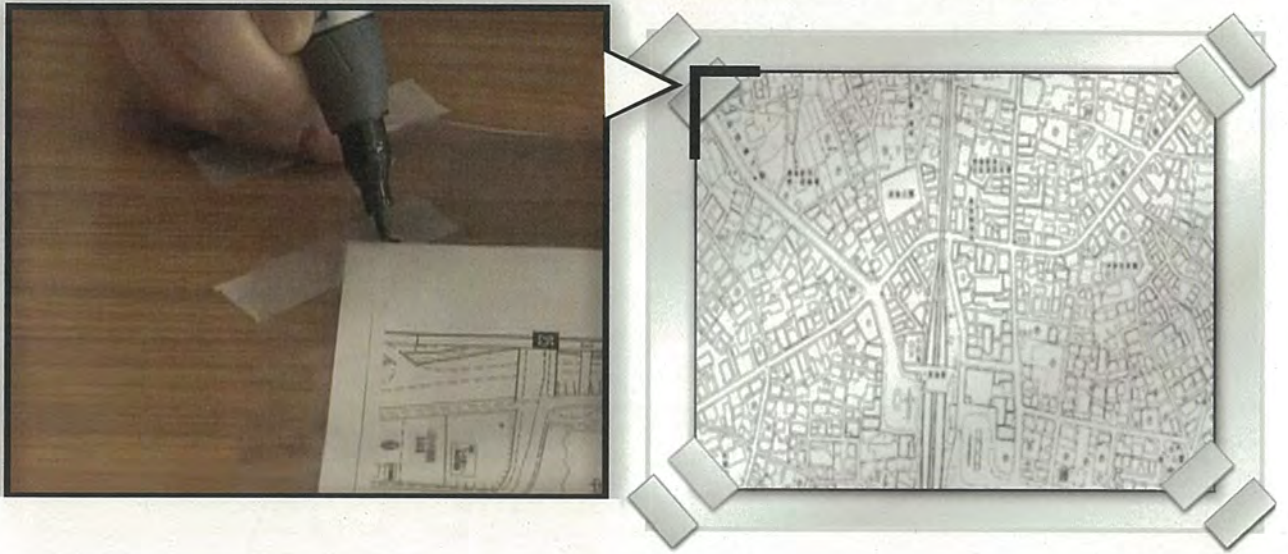
◎水害、土砂災害を テーマとした場合



洪水・土砂災害
ハザードマップ

準備 図面のセッティング

- ①地図をセットしてください。
- ②最初に地図をテープで固定してテープでとめます。
- ③その上から透明シートを1枚かけ、テープで固定してください。
- ④マーカーで地図の四隅に印をつけてください。



**災害図上訓練DIG
共通作業**

地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

- 災害時に多目的に使えるような
広場、公園、運動場、駐車場を
緑色の斜線で塗りましょう。



- 河川、ため池、用水路、海岸線を
青色の線でなぞりましょう。

- 鉄道があれば
黒でなぞりましょう。



地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

- 公的避難所(行政指定の避難所)に
緑色●シールを貼りましょう。

例) 避難所、避難場所等

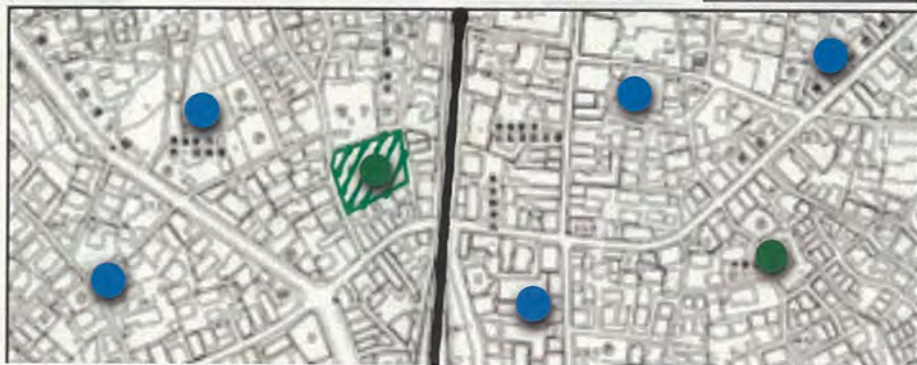


地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

● 住民の視点で見た災害時に役に立つ防災資源に青色●シールを貼りましょう。



例) 井戸、防災倉庫、病院、コンビニ、薬局、カー用品、ホームセンター、食料・飲料水確保等



地域の確認 着色作業

● 自主防災組織、町内会などをベースに災害が発生したときに組織的活動をする範囲を確認する。

→ 黒色で囲む

→ これ以後の作業や課題についてはこの範囲内で検討する。



災害図上訓練DIG

震災編



地域の確認 着色作業 地域の特徴をつかみます

自分の地域(黒線の枠内で)

- 地震に対して弱い古い木造住宅(築昭和55年以前)を黄色で塗りましょう。

地震に対して弱い古い木造住宅
(築昭和55年以前)



- 地震に閉塞道路し、通れなくなる道路をピンク色で塗りましょう。

例) 道幅2m以下、行き止まり、車1台のみが通る道路
老朽木造(黄色)に囲まれた道路



想定

- ・20XX年 X月 X日 12:00
- ・天候 XX
- ・大きな地震が発生しました。

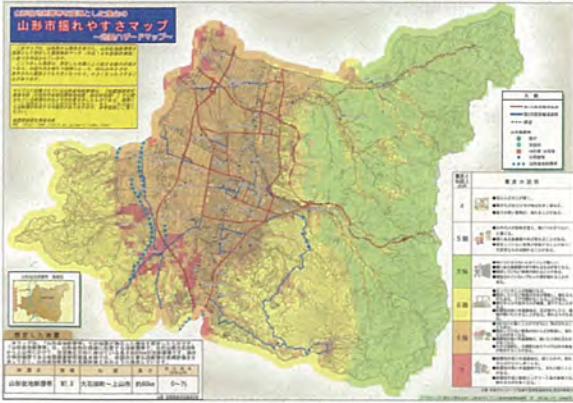


課題1 被害確認と安否確認

- ・被害確認と安否確認はどのようにして行いますか？
流れ、方法、人数を箇条書きでA4用紙に記入
例) ××へ参集、○人で、地図上の順で、個別訪問で・・・
動きを地図に→矢印 (色はおまかせ) などで記入
- ・状況が確認されるまでの時間は？



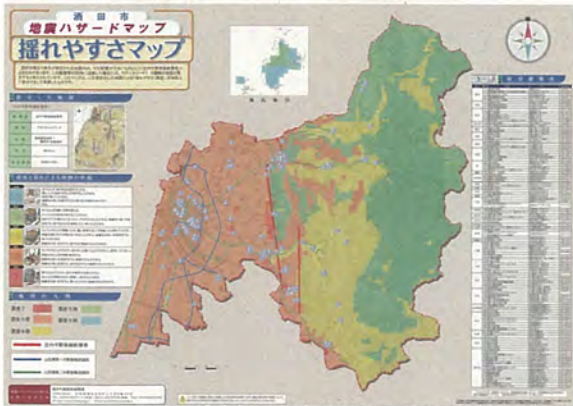
状況付与 震度情報の例



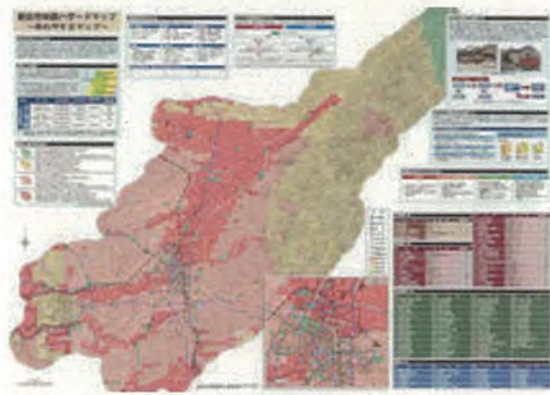
山形市揺れやすさマップ



米沢市揺れやすさマップ

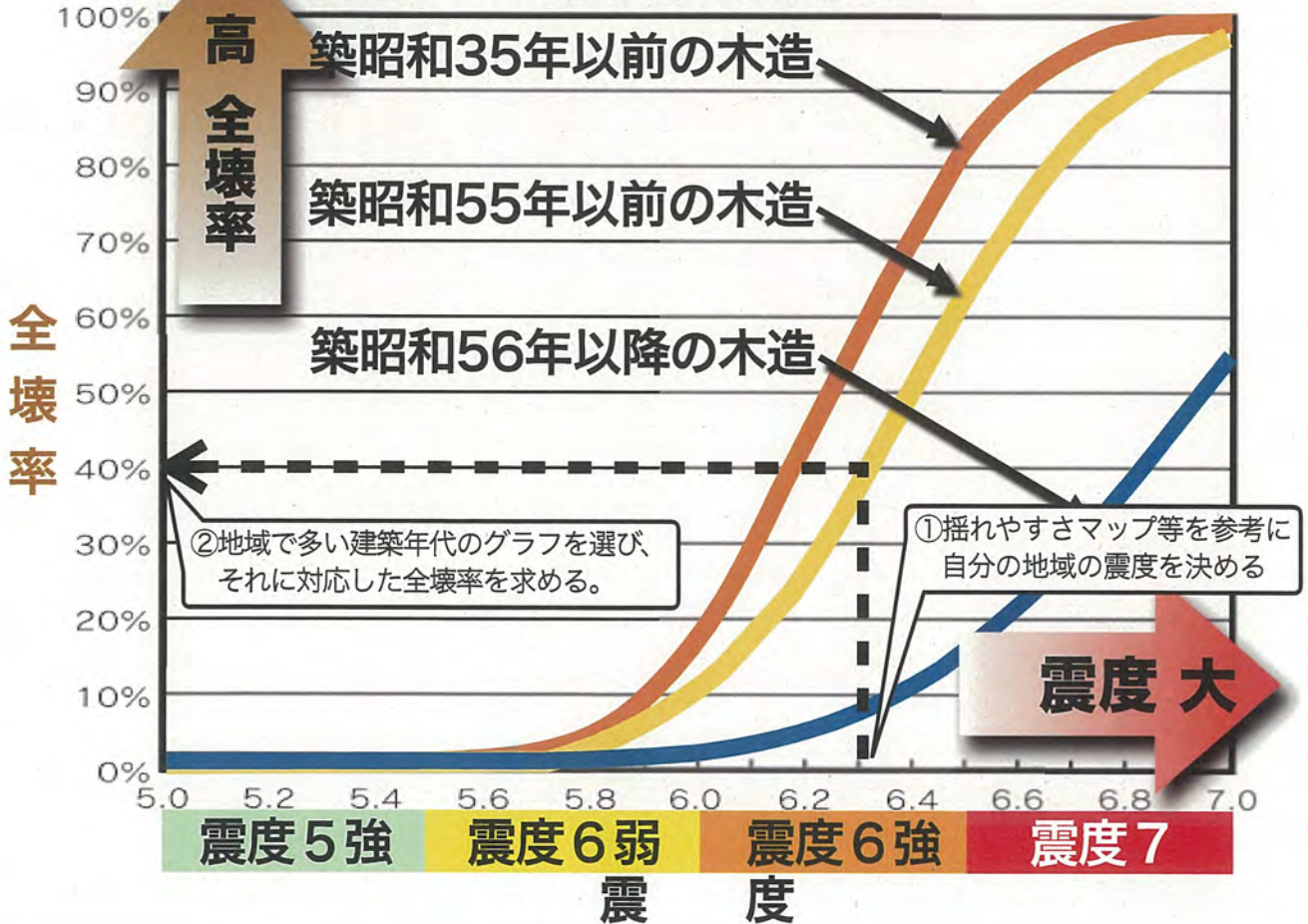


酒田市揺れやすさマップ



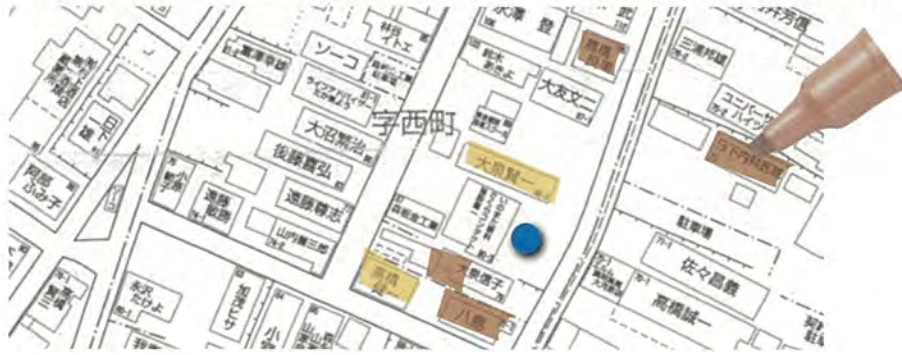
新庄市地震防災マップ

震度から木造家屋全壊率を出す



確認 家屋倒壊率算定

- 木造家屋の全壊率の割合をもとに黄色に茶色の×印をつけましょう。
例) 全壊率が40%なら黄色10軒あたり4軒の割合で茶色の×印をつける



- 全壊家屋数は？
- 閉じ込め人数は？

課題2 対応活動の検討

- どこから、何人で助けますか？
 - 救助道具には何が必要で、その数は？
 - けが人の搬送先と搬送方法は？
- など、何ができるか検討しましょう。

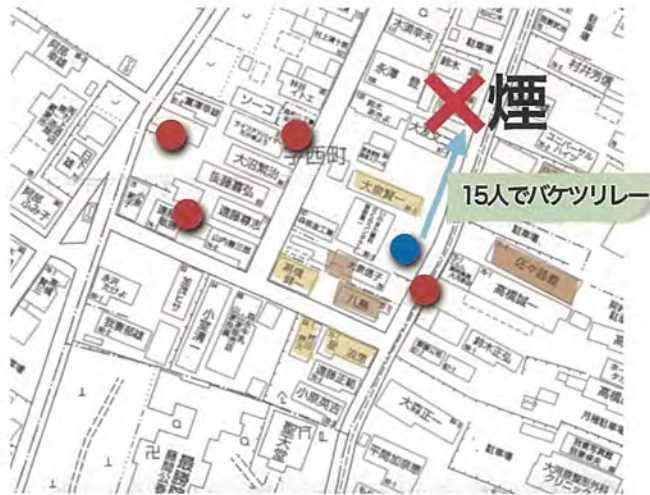
搬送場所



課題3 対応活動(火災発生の場合)

住宅から煙があがっていると住民から連絡

- ・ 初期消火しますか？方法は？
- ・ 避難誘導はどうしますか？



課題4 対応の流れの整理

自主防災組織や地域に関連した組織の対応の流れを整理しましょう。

優先順	対応内容
または	対応内容
組織の役割	付箋紙
必要となる資機材		

まとめ これからの備え、活動

以上からまとめて
この地域の地震に対する

◎今後必要となる活動・訓練と備えは？

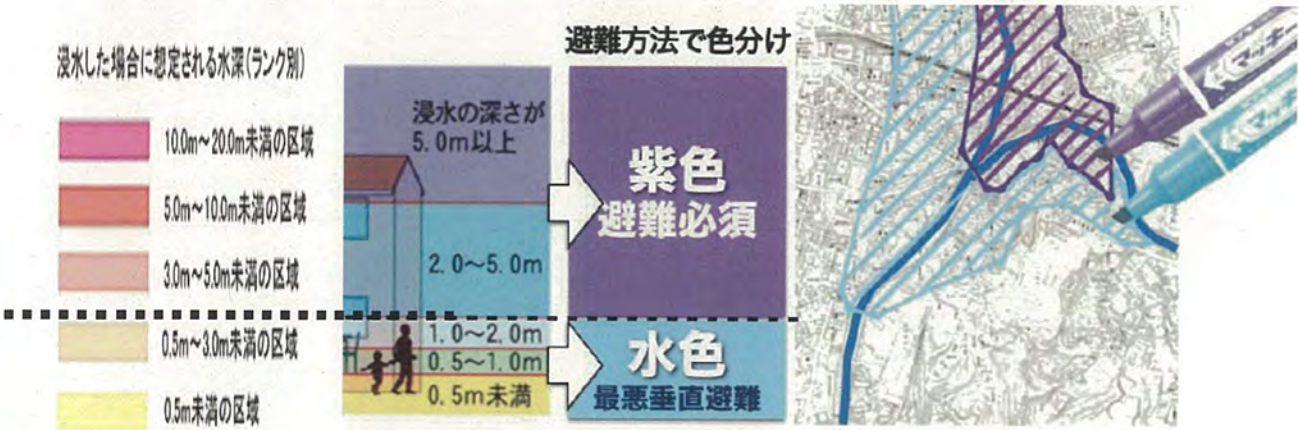
◎すぐには無理だが将来時間をかけて
取り組むべき活動は？

**災害図上訓練DIG
風水害・土砂災害編**



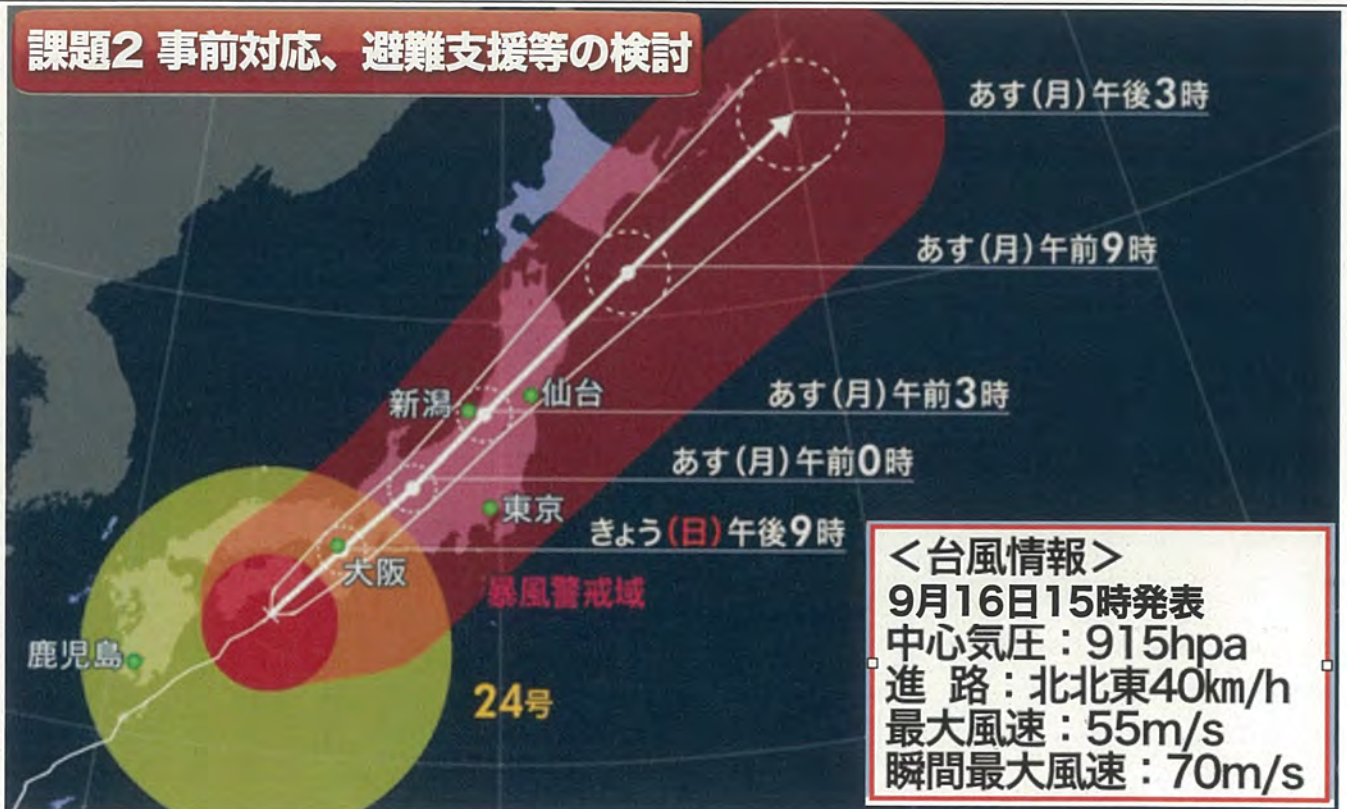
確認 災害範囲の特定 ハザードの把握を行います

配布のハザードマップを参考に浸水する範囲を**水色**、**紫色**で塗りましょう。



- また、土砂災害の恐れのあることを**茶色**で塗りましょう。
- 大雨時に危険となるところに**赤●シール**を貼りましょう。

課題2 事前対応、避難支援等の検討



例えば自主防災組織は事前にどのような対応をしますか？
 要配慮者などへの対応も含め、話しあってください。

防災まち歩きとマップづくり

山口大学大学院 創成科学研究科 瀧本 浩一
総務省消防庁 消防大学校

	机上で検討	現場で検証
どこが？ どこで？	図上訓練 マップづくり	まち歩き パトロール
いつ いつまで？	図上訓練	訓練

事前準備

まちあるきに向けて

- ・対象とする災害は？ 地震または水害、土砂災害？
- ・まち歩きする範囲と経路を決めましょう。
- ・まち歩きする範囲、経路上に
どのような危険箇所が予想されますか？
どのような防災資源（避難所、災害時に有効な所）が
ありそうですか？

災害・防災に関するどこかの現場検証
地域の危険箇所、防災資源を現場で把握する
⇒防災まち歩き、パトロール実施の意義



不適格ブロック塀



外壁の落下

災害・防災に関するどこかの現場検証
地域の危険箇所、防災資源を現場で把握する
⇒防災まち歩き、パトロール実施の意義

危険は潜んでいる→多くの目で暴くことができるか？



まち歩きをする

◎役割を決める

- ・リーダー：引率、経路確認
- ・記録係：対象地域の縮小地図への記録
- ・撮影係：デジカメ、ポラロイドカメラ等
- ・安全管理：交通事故防止



防災まち歩き 風水害・地震の場合

見るところ、風水害・土砂災害の観点で

- ・危険箇所
- ・防災資源：災害時に役に立つ所
- ・避難所、場所の確認
- ・その他気になった所、不安な所

防災まち歩き 地震の場合

見るところ、災害がおこったという想定で

- ・老朽建物の状況の確認
- ・地震時の危険箇所(転倒、落下、崩落等)
- ・防災資源：災害時に役に立つ所
- ・避難所、場所の確認
- ・道路の幅 (地震時に閉塞しないか?)

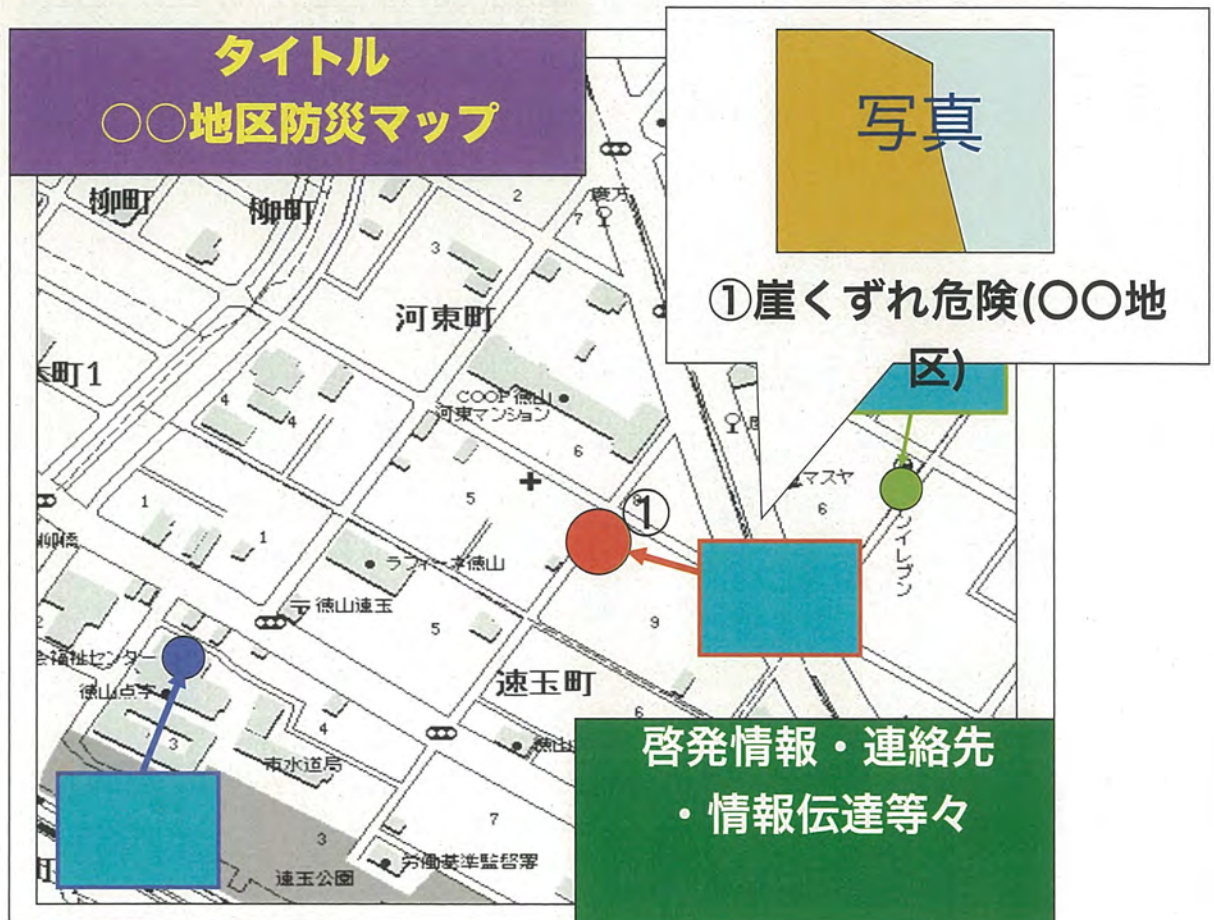
まち歩き結果のまとめ

- ◆災害時の危険箇所がありましたか？
赤色●シールを貼り、内容を付箋紙に記入しましょう。
- ◆不安を感じる所に黄色●シールを貼り、内容を付箋紙に記入しましょう。
- ◆まち歩きした範囲の地域の印象はどうでしたか？
- ◆課題や改善すべき点がありましたか？
- ◆そのほか、気になったことがありましたか？
※気づきを付箋紙に書いて地図のまわりに貼りましょう。

得られた情報を精査して、必要な情報のみ転記する。
 必要に応じて写真を地図に貼っていく。



写真の貼り方 吹き出し型



写真の貼り方 曼荼羅型

タイトル ○○地区防災マップ

写真

①崖くずれ危険(○○地区)

写真は厳選して貼ってください

啓発情報・連絡先・情報伝達等々

マップの使用目的を定める

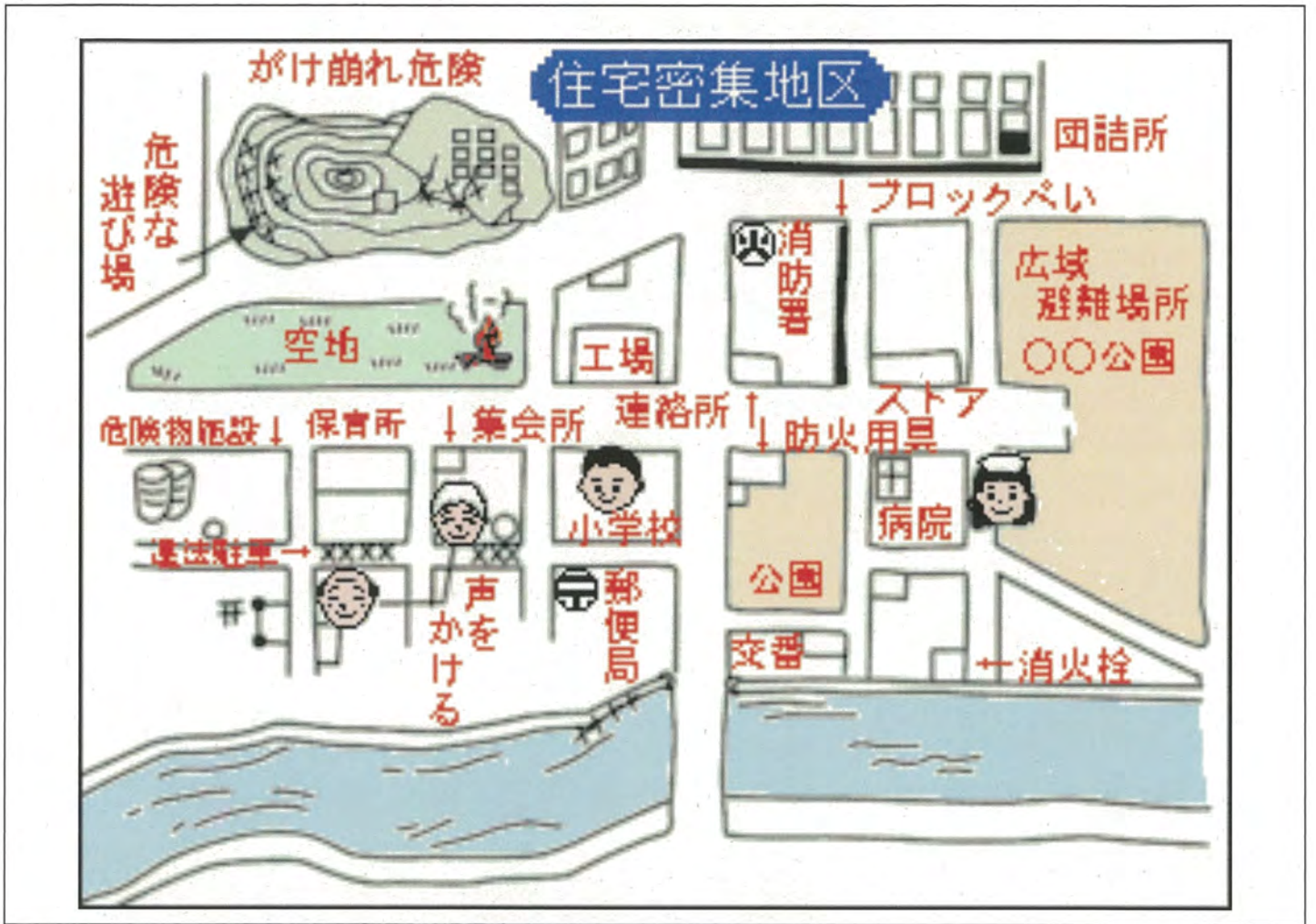
マップで何を伝えるのか？

- ・ 避難を支援する？
- ・ 災害対応を支援する？
- ・ 危険箇所・ハザードを周知する？



事前型啓発目的

発災時利用目的



防災マップの役割 台町内会自主防災会
啓発周知目的のマップの例

凡 例			
	区役所出張所		消火栓
	消防出張所		防火水そう
	消防団草庫 (自主防災会等草庫等)		プール
	警察署・交番		池水
	救急告示病院・診療所		寝たきり家族世帯
	広域避難場所		発動発電機
	生活避難場所		炊き出し用具
	近隣避難場所		救出用器具
	水防避難場所		救護等の人材確保
	目標場所		手押しポンプ井戸
	下水処理・清掃工場・埋立地等		動力ポンプ井戸
	備蓄倉庫		薬局(ミルク)
	災害対応7活動拠点		公衆トイレ
	臨時ヘリポート		公衆浴場
	浄水場・緊急遮断弁付配水池等 (食料水が供給されます。)		公衆電話
	急傾斜地		避難道路
	防災行政無線屋外受信機		主要道路
	屋外放送設備		緊急輸送道路
	昭和46年以前の住宅		土石流危険渓流
			急傾斜地崩壊危険箇所

道路冠水状況マップ《保管》 西花園区

台風 23 号当時の周辺道路冠水状況の報告に基づいて『道路冠水状況マップ』を作成しました。このマップは、今後もしも水害が発生した際に、安全・安心して避難する経路確保のための防災マップとしてご家庭で保管し、ご活用ください。

【主な場所と道路冠水位】

- 0.4 m未満
- 0.4 m以上～0.6 m未満
- 0.6 m以上～0.8 m未満
- 0.8 m以上～1.0 m未満
- 1.0 m以上～



**防災マップの役割
大雨時の避難支援のマップの例**



(1564～1642 伊ヴェネチア共和国)

書きとどめよ、
考え、議論したことは
風の中に吹き飛ばしては
いけない・・・

ガリレオ・ガリレイ